

登校の道へ

私は、小学3年までの朝歩く道が大好き。朝の登校の道へ感言射の気持ちを伝えます。

朝の登校のはじまりの1歩目はお母さんの「いってらっしゃい」。安心する気持ちや、やる気を+言でくえてありがとうございます。(げんかん)から出て3歩目、小鳥の鳴き声が聞こえてくる。深呼吸して、気持ちがすごくおち着くんだ。

130歩目で足を止めて待ち合わせ場所で友達を待っているとおばあちゃんが「おはようがんばってね!」と毎朝言ってくれる。あいさつは人を元気にしてくれるということを実感できる。友達が「小走り」でかけよってくる。待ち合わせ時間におくれてくる事がなくて、まだかなあ、と待っているけれど、顔を見ると大きな声で「おはよう!まなちゃん」といってくれる。毎朝会えて幸せだなあという気持ちになる。(いつも私を笑顔にしてくれてありがとう)。

284歩、友達と登り坂を歩くと、富士山やみどりの山々がみえる。気持ちがいい、いつも自然を感じさせてくれて、ありがとう!

362歩、(はにふり)のお母さんが横たん歩道に立ってくれている。いつも私たちの安全を守ってくれたり、あいさつをしてくれて、ありがとうございます。

どうどう、534歩で小学校の正門(につくと先生が「おはようございます!!」と言ってくれる。気がつきしまり、学校の始まりをかんじる。

そして正門を通過するとたくさんの方達と会う。毎日大切なみんなと会わせて貰てありがとうございます。

そしてたくさんのありがとうございますをつないで気持ちのいい朝のはじまりをさせてくれる登校の道へ感言射の気持ちがあふれます。卒業までよろしくね。毎朝本当にありがとうございます。

